

# ひるがみ

第 83 号

令和3年7月21日

発行

障害者支援施設  
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>

## 日はまた昇る

園長 岡庭保人

「おかあさん僕は目が見えない、でもいいよ、ピアノが弾けるから」盲目のピアノリスト辻井伸行さんの言葉です。

昨年来長く悩まされている「コロナ」に対し、そろそろ前を向いた取組みを始める時期が来ているように思えます。変異株拡大により外出や帰省はまだまだ難しそうですが、今利用者さんができること、楽しめることを一緒に考えて捜し見つけることへのサポートが、現在職員に求められている役割の一つだと考えるようになってきました。

ジグゾーパズル、間違いがし、TVでのスポーツ観戦、DVD鑑賞など…。言葉や心のキャッチボールを通じて利用者さんのやりたいことを引き出し、手を携えて支援することができればいいなあと考え、毎朝の食堂・居室での「おはようございます」から今日を始めています。

一日のすべての時間を療護園で過ごしていただいている利用者さんに、この頃は時間がたつのが早くなった、明日は何をやるのかなど少しでも先をみて行動してもらえらるならば職員冥利に尽きます。

コロナはもちろんのこと、災害等緊急時の備え、健康の維持・管理など配慮しなければならぬことは多々ありますが、利用者さん

との日々の接点を少しずつ増やすことで、一人ひとりの考え方や悩み、希望を理解し、ともに歩みを進めていきたいと考えています。



初夏の療護園周辺です。

## 新任職員挨拶①

三月からお世話にな  
っていただきます川崎茜で  
す。十五年ほど前にも  
働かせて頂いていまし  
たが、またご縁があり  
働かせて頂くことにな  
りました。暫く介護の  
仕事から遠ざかってい  
た為、毎日仕事内容を

## 新任職員挨拶②

三月からお世話にな  
っております熊谷ゆみ  
です。

前職では十三年ほど  
病院に勤め、リハビリ  
病棟での患者様の介助  
を行ってきました。病  
院では未成年から百歳  
を超える高齢者まで幅  
広い年齢の方がリハビ  
リに励み、在宅や施設

思い出しながら、また  
十五年で変わった内容  
が多々あり、初心の気  
持ちで日々勉強しなが  
ら業務を行っていま  
す。

以前自分が働いてい  
た時を知っている利用  
者様が私の事を覚えて  
いてくれて、声を掛け  
て頂きとても感動いた

への復帰を目指すお手  
伝いをして参りまし  
た。

こちらにお世話にな  
り三ヶ月が経ちまし  
た。入職当初は、聞い  
たことのない疾患や、  
目の当たりにする障害  
に少し戸惑う事もあり  
ましたが、先輩方が丁  
寧にご指導下さり、支  
援させて頂く事が楽し  
く、日々勤める事がで

しました。私も当時の  
利用者様が変わらない  
様子が生活していた事  
が大変懐かしくもあり  
嬉しくもありました。  
新しい利用者様ともス  
キンシップを心がけ皆  
様の力になれるように  
頑張っていきたいと思  
います。今後とも宜し  
くお願い致します。

きました。

ご利用者様が元気に  
声を掛けて下さる事が  
とても嬉しく、ご利用  
者様の笑顔が私の励み  
になっています。まだ  
まだ勉強の毎日です  
が、今までの経験を活  
かし、必要とされる支  
援員になれるよう頑張  
っていきたいと思いま  
す。今後ともよろしく  
お願い致します。

## 夜間火災避難訓練

六月二十四日、ストロ  
ベリームーン（四ペー  
ジに写真掲載）が照ら  
す夕暮れに、夜間を想  
定した火災避難訓練が  
行われました。昨年は  
コロナ禍で近隣の方た  
ちにお声を掛けず実施  
しましたが、今回は伊  
賀良消防署より講師二  
名、阿智村消防団二名、

昼神地区の役員六名、  
お宿山翠より一名、計  
十一名の方々に参加し  
て頂きました。利用者  
さんは北棟から四名、  
南棟から八名参加し、  
ベッドで横になってい  
る状態から起こして車  
イスに乗り正面玄関ま  
で誘導するという手順  
で避難しました。皆さ  
んのご協力で、安全か  
つ迅速に訓練を行うこ  
とができました。

伊賀良消防署下平様  
からも「訓練は基本が  
徹底され、①火災の発  
見 ②初期消火 ③火  
災の通報・連絡 ④避  
難誘導 が確実に行わ  
れていた。利用者の皆  
さんは安心してこの施  
設で生活して下さい。」  
というお言葉を頂きま  
した。

避難訓練後は、参加し  
て頂いた外部の方たち  
に、現在の療護園の概  
況、令和二年七月豪雨  
時の避難の状況等お話  
しさせて頂き、災害な  
どの有事の際にはお互  
いに協力し合うことを  
再確認することができ  
ました。今回、大勢の  
方にご協力、ご参加頂  
き大変有意義な訓練を  
行うことができました。  
（Y・K）

# かけがえのないもの

私が昔入院した病院では看護業務が固定チーム制で組まれていました。看護師のベテランMさんはBチームで、小規模の異動により翌日から同じ病棟内のAチームに移る模様。

その夜十一時過ぎ、勤務を終えたMさんは帰

り際、暗い病室の前で立ち止まりました。私と同室の患者F氏の寝顔を見つめているのです。F氏は重度の認知症で、不機嫌な時は食事介助のMさんの顔に口の中の物を吐きかけていました。それでも、Mさんは担当患者のF氏が愛らしか

ったのでしよう。暗い廊下に暫くたたずみ、眼や鼻を拭った彼女は「サヨナラ」とつぶやいて、去りました。

医療提供者と患者という関係はわきまえつつも、MさんはF氏との間に、かけがえのない結びつきを実感していたに違いありません。

(利用者H・K)

## 介護員室だより

療護園の庭に、プラントナーへ植えた「スズメウリ」・「イボなしキユウリ」・「プチョマト」・「バジル」・「パセリ」があります。

Kさんは、毎日車椅子に乗って園の廊下を運動しながら窓から苗を覗いています。私に

会うと、「今日、黄色い花が咲いていたよ」・「指の先くらいの実ができていたよ」と嬉しそうに教えてくれます。Kさんに、「キユウリが採れたらどうやって食べたいですか?」と聞くと、「味噌を付けて食べたいなあ」と言っていました。

Kさんは、食事の時に

付けの手伝いや、手が痛い利用者さんをマッサージしてくれるとても優しい方です。コロナウイルス流行前は、外出して買物等をしていきましたが、今は全く外出ができません。とてもつまらない毎日だと思います。

野菜の水やりと収穫がKさんの楽しみの一つになり、気が紛れる



きゅうりの収穫が出来ました。みんなで美味しくいただいています。

す。といいなあと思います。

(R・T)

# 令和三年度年間行事予定

- 毎月実施 利用者自治会 外出
  - ・ドライブ
  - ・園の周りの散歩
  - ・レクリエーション
  - ・夏祭り
  - ・映画会
  - ・放送
  - ・カラオケ
  - 同好会
  - ・ものづくり
- 四月 開園記念日  
七月 あじさい会  
九月 運動会  
十二月 忘年会  
一月 書き初め  
二月 節分  
三月 ひな祭り



## 令和三年度苦情対応

・利用者間のトラブルに関するもの 三件

※新型コロナウイルスの影響で予定通りに行事が出来ない場合もあります



# お花見ドライブ・散歩

四月にお花見ドライブと散歩を行いました。  
利用者さんと職員から沢山感激の声が聞かれました。  
その一部を紹介します。



花桃が良く見えた。  
綺麗だった！  
(C・K)

また行きたいな。  
(D・S)

もっとゆっくり  
見たかったー！  
(R・T)

綺麗だね。  
来て良かったね  
(H・K)

花桃は、  
今の時期が  
1番見頃！  
(C・I)

来年は皆で花桃の前で  
写真を撮る！  
(T・K)



花桃が綺麗だった！  
(H・S)

外に出られて良か  
った。(Y・N)

来年はもっとゆ  
っくり見る！  
(Y・I)

入社して初めて昼神  
の花桃見た。  
とても綺麗だった  
さすが昼神！  
(F・I)

色合いがほんとに  
素敵だった。  
(Y・H)

## 現況報告

令和三年七月一日現在

利用者 四十六名

職員 四十五名

(非常勤職員を含む)

## ストロベリームーン



雲の切れ間から、紅  
く色付いた満月が顔を  
のぞかせました。

## 編集後記

七月八日に当園で新  
型コロナの第一回目の  
ワクチン接種が行われ  
ました。

当園のみならず、各  
地でワクチン接種が順  
調に進み、感染症が収  
束に向かう事を  
願っています。

